

市議会だより

大室山 小室山



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。



昭和42年頃



平成29年

温

故

知

新

市道南口線

いのでゆ橋付近から下田方面を望む

伊東市制施行70周年記念写真展より

主な内容

- 12月定例会の概要 【P. 2】
- 一般質問（9議員が登壇） 【P. 4】
- 常任委員会だより 【P.11】
- 大規模な太陽光発電施設の法(条例等)整備に【P.12】
関する要望

平成29年12月定例会

8 件の議案等を審議、決定

12月定例会を12月1日から12月15日までの15日間の会期で開会しました。

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第22号 🗨️ 討論	機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例	自然災害、異常気象の頻発や災害の大規模化など、多様な危機管理事案に専門的に対応する観点から、新たに危機管理部を設置することに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第23号 🗨️ 討論	伊東市子育て支援医療費助成条例の一部を改正する条例	さらなる子育て支援の充実を図るため、助成対象年齢を18歳までに拡充するとともに、入院時食事療養費を対象経費に加えるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第24号	平成29年度伊東市一般会計補正予算(第6号)	主な補正内容として、環境美化センター更新改良整備事業等の起債の償還に備えるための減債基金積立金、保育園施設整備に係る補助金、有害鳥獣の利活用推進モデル事業である鹿、イノシシなどの解体施設整備に対する補助金など、8億5,808万8,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第25号	平成29年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	不足が見込まれる居宅介護サービス給付費や施設介護サービス給付費の増額など、4億1,912万1,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第26号	平成29年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	後期高齢者医療広域連合に対する療養給付費負担金などの増額で、1億851万4,000円の追加	市長	全会一致で可決
市選第21号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	稲葉衛氏(八幡野)再任	市長	全会一致で選任に同意
発議第7号	前正副議長に感謝状の贈呈について	稲葉富士憲前議長及び佐山正前副議長の在任中の功績に対する感謝状の贈呈	議員 8名	全会一致で可決
発選第9号	駿東伊豆消防組合議会議員補欠選挙	指名推選により、山口嘉昭議員、稲葉富士憲議員、浅田良弘議員が当選	—	—



前副議長に感謝状を贈呈（写真右：佐山前副議長）



前議長に感謝状を贈呈（写真右：稲葉前議長）

会派構成は9ページをごらんください。

本会議で行われた 討論の概要

■市議第二三号

【賛成】日本共産党

企画部から危機対策課を独立させ、危機管理部とする機構改革は危機対策課、企画部両方の強化策として評価する。狩野川台風では松川本流よりも小河川の氾濫が多く犠牲者を生んだと言われる。土砂災害防止法の精神で、市民へのハザードマップの啓発も重要だ。防災意識、防災体制の強化に期待し、賛成する。

■市議第二三号

【賛成】日本共産党

子供の医療費助成が高校生を超え、一八歳まで拡充されたことや、入院時食事療養費が無料になったことは評価できるところである。しかし、窓口負担の五〇〇円を無償化にという要望も多い。本市を除く伊豆半島の六市六町では、中学生まで完全無償化を実現していることから、さらなる拡充に期待し、賛成する。

ことばの解説

(討論)

一般的に使用されているある議題に対しお互いの意見を闘わせることとは異なり、表決の前に、議題となっている議案について、議員が自己の賛否の意見を表明すること。このため、討論は一議題につき、一議員一回とされ、他の議員の討論内容に対し、再度討論することはできません。

(指名推選)

法律又はこれに基づく政令により地方議会で行う選挙について、議員中に異議がないとき、投票によらず、あらかじめ指名人を定めて、指名人により指名された者(被指名人)を当選人とする方法です。

この方法によるためには、①指名推選とすること②指名の方法(指名人)③被指名人が当選人となることについて、出席者全員に異議がないことが必要となります。

公職選挙法に基づく政治家の三ない運動

政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。

秘書等が代理で出席する場合の結婚祝



地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入



お祭りへの寄附・差入



町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入



みんなで徹底しよう
三ない運動

贈らない!

求めない!

受け取らない!

これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。

落成式・開店祝等の花輪



病気見舞



お歳暮・お年賀



入学祝・卒業祝



葬儀の花輪・供花



秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典



総務省HPより

(詳しくはhttp://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo08.htmlをごらんください)

市議会では、市民の皆様に市議会の情報をお届けするため、ホームページを開設しています。
主な内容は次のとおりとなっていますので、ぜひごらんください。

- ◎市議会の仕組み
- ◎市議会の構成
- ◎市政の概要（全編版・抜粋版）
- ◎議会閉会中の活動状況
- ◎議長・副議長日程表
- ◎行政視察
- ◎いとう市議会だより
- ◎請願・陳情、決議・意見書とは？
- ◎市議会の傍聴を！
- ◎市議会図書室のご利用案内
- ◎市議会の情報公開請求
- ◎伊東市議会会議録検索システム
- ◎市議会インターネット中継放送
- ◎正副議長のごあいさつ
- ◎第18期伊東市議会議員名簿
- ◎歴代議長・副議長
- ◎定例会・臨時会

伊東市議会
ホームページの
ご案内



伊東市議会

検索

一 般 質 問

9 議員が登壇/市政全般について質問（登壇順に掲載）

市長は就任以来、地域タウンミーティングや未来ビジョン会議など、精力的に市民と意見交換する機会を持ってきたが、今後は得られた市民の生の声をどのように市政に反映させていくかが重要であり、それが市民の信頼に込めることになる。このような取り組みの中で、若い世代の思いを受けとめることは、本市の将来に対する投資であり、本市で安心して子供を育てられるという希望を抱けるまちづくりにつながる。

また、市長所信表明においても、子育て支援の充実を図るとのことであったことから、優先的に取り組む施策を伺うとともに、その

子育てしやすいまちを目指すための今後の施策展開と財源の確保について伺う



自民・絆
稲葉富士憲 議員

財源をどのように確保するのか伺う。

市長

小学校就学前一年間の保育園、幼稚園の保育料無償化については、平成三〇年四月から実施していきたい

子育て支援策の充実については、地域タウンミーティングや、未来ビジョン会議等で市民の皆様の意見を直接伺う中で、公約を着実に実行していきたいと考えている。特に、小学校就学前一年間の保育園、幼稚園の保育料無償化については、平成三〇年四月から実施し、対象は、公立・私立を含め、全ての保育園、幼稚園とし、五歳児の保育料を無償化することにより、経済的負担軽減を図り、安心して小学校入学への準備ができるよう、子育て支援の充実を進めていく。

五歳児保育料無償化に係る経費については、保育料収入の減と私立幼稚園への保育料補填のための歳出増を合わせ、約四四〇〇万円

を見込んでいるが、その財源は既存事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底することで確保していく。

『その他の質問』 九項目



5歳児の幼稚園・保育園保育料を無償化



正風改革クラブ
佐山 正 議員

総合運動施設や体育館などの体育施設の整備について考えを伺う

一人一スポーツを提唱している本市では、ボッチャ競技の杉村選手に代表されるように、さまざまなスポーツが行われており、競技団体等に加せず、個人

で一人一スポーツを実践している市民も多い。オレングジビーチでウォーキングをする方々はその一例であるとともに、健康回復都市宣言をした本市の考えそのものを実践している。

しかし、スポーツと誘客・観光を一体化した、スポーツツーリズムの推進については、施設や設備の面で難しい状況であることから、総合運動施設や体育館などの体育施設の整備について、考えを伺う。

市長

総合運動公園として整備を進めていきたい

スポーツの振興については、活力ある地域社会や心豊かな市民生活を実現する上で、欠かすことができないものであるとの思いから、市議会六月定例会の所信表明でも述べたが、市民や来遊客が楽しくスポーツすることができ、環境整備を進め、スポーツツーリズムの推進とともに、健康寿命を延ばし「健康保養都市・生

涯スポーツのまち伊東」を目指していきたい。具体的には、長年の懸案であるナイター設備を備えたサッカー場を初め、陸上競技場や多目的に使用可能な芝生を敷き詰めたフィールド、さらには、ジョギングコースなどをあわせ持つ総合運動公園として整備を進めていきたい。

また、体育館や室内プールなどについても、競技団体を初め、多くの市民の皆様から建設を望む声が届いていることから、今後これら施設について調査・研究を続けていく。

『その他の質問』 六項目



体育施設の整備が望まれる



民進クラブ
四宮和彦 議員

湯川終末処理場建屋壁面に描かれたマンタの壁画に、現在の状態及び今後の対応について伺う

湯川終末処理場建屋の伊東マリンタウン側壁面に描かれているマンタの大壁画については、平成一五年二月に完成して以来、一五年近くが経過しており、市民だけでなく、観光客にとっても、伊東の玄関口のランドマークとして定着しているところであることから、当該壁画に関し、二点伺う。

一点目として、マンタの大壁画については、施工から約一五年が経過し、劣化が進んでいると思われるが、現在の壁画の状態について伺う。

また、今後、壁画の劣化が進んだ場合は、その状態に合わせて補修等を行い、壁画の保全に努めていくと考えている。

また、今後、壁画の劣化が進んだ場合は、その状態に合わせて補修等を行い、壁画の保全に努めていくと考えている。

また、今後、壁画の劣化が進んだ場合は、その状態に合わせて補修等を行い、壁画の保全に努めていくと考えている。

『その他の質問』 七項目



マンタの壁画



正風改革クラブ
土屋 進 議員

松川藤の広場周辺の整備と有効活用に関し、観光会館にかわる文化施設を早期に建てかえるべきと考えるが、いかがか

松川藤の広場の隣接地の公有地化を積極的に進め、用地の拡充・一体化を図ることは、伊東市庁舎跡地利

用構想審議会の答申にある、国際観光温泉文化都市にふさわしい文化施設建設の実現に大きく前進することができ、市街地の活性化にもつながる。

また、観光会館は既に築五一年が経過し、老朽化も進んでいることから、時代のニーズ、市民や観光客のニーズにも応え、まちづくりの核であり、重要な拠点となる文化施設として、早期に松川藤の広場に移転、建てかえすべきと考えるが、いかがか。

市長

新たな文化施設の整備は、本市のまちづくりにも大きくかわることから、候補地の選定を含め、慎重に検討しつつもスピード感をもって進めていきたい

新たな文化施設の建設については、観光会館の建てかえも視野に入れ、協議を進めているところであり、関係各課で構成するワーキンググループにおいて利便性、機能性、経済性、防災

性などを幅広く捉えながら、業者に委託し、建設に向けた基本構想案の策定を進めているところである。

今後については、有識者から成る専門委員会を設置し、本構想案をたたき台に検討いただくとともに、地域タウンミーティングや未来ビジョン会議などの意見も参考にしながら進めていく予定である。

新たな文化施設の整備は、本市のまちづくりにも大きくかわることから、候補地の選定を含め、慎重に検討しつつもスピード感をもって進めていきたい。

『その他の質問』 三項目



松川藤の広場



日本共産党
重岡 秀子 議員

メガソーラー問題に関し、建設中または計画中の施設の雨水処理における八幡野川への放流について、河川の現況に係る問題点を伺う

九月定例会においても質問しているが、その後も、大雨や台風などの影響により、建設中または計画中のメガソーラー施設から土砂の流出が発生している。因果関係は定かでないにしても、八幡野港一帯の海は、泥の流出により、近年になく汚染され、ダイビングや漁業関係者は大きな被害を受けている。

また、不法な森林伐採があった土地もメガソーラー施設建設が計画されていたということも踏まえると、メガソーラー施設の雨水が八幡野川に放流された場合、どこから見ても小規模な河

川である八幡野川の流下能力に不足や問題があれば、流域の住民生活や海洋環境に大きな影響を与えることとなり、非常に重大なことで受け止めなければならぬことから、当該河川の現況に係る問題点を伺う。

市長

一年に一回降る大雨時の一時間当たりの降雨量に対して、不足する箇所はないものと認識している

八幡野川への放流については、本市の土地利用指導要綱に基づき現況の河川に新たな負担が生じる場合は、河川改修を行うことや河川改修が困難な場合は、調整池を設置することなどを指導している。

なお、現在、建設中または計画中の施設の放流部より下流の流下能力については、一年に一回降る大雨時の一時間当たりの降雨量に対して、不足する箇所はないものと認識している。

また、今年度から建設課において未整備箇所の護岸

改修を行っており、次年度以降も継続的な改修を予定しているところである。
『その他の質問』 五項目

八幡野川（国道下の暗渠部分）



伊東新時代。
犬飼このり 議員

LGBT等の性的マイノリティーに対する理解を深めるための取り組みについて伺う

比較的新しい人権の認識であるLGBT等の性的マイノリティーについては、国内の自治体でも同性パートナーシップ制度などの

施策が広がっているが、社会全体においては、まだ偏見や差別があることも事実である。

日本では約一三人に一人が、自分は性的マイノリティーであると認識しているという調査結果があり、身近にいとこえられる性的マイノリティーの人たちは、本市で自分らしく生きていく希望を持つ重要な施策と考えることから、理解を深めるための取り組みや課題及び今後について伺う。

市長

まずは多様な性を認め、そして理解するという個々人の意識の涵養が不可欠であると考えている

本市におけるLGBT等の理解を深めるための取り組みについては、伊東市民病院が事務局を務める伊豆思春期研究会が開催した講演会に市職員や学校の教員が参加した経緯はあるが、これまで特に行っていない状況である。

課題については、現状ではLGBT等の性的マイノリティーに対する理解が社会全体に広く浸透していないと認識していることから、まずは多様な性を認め、そして理解するという個々人の意識の涵養が不可欠であると考えている。

今後は職員を初め、市民の皆様を対象とする講演会などを通じ、LGBT等の性的マイノリティーに対する理解を深められるような取り組みを進めていきたい。

『その他の質問』 四項目

L = レズビアン
(女性の同性愛者)



G = ゲイ
(男性の同性愛者)



B = バイセクシュアル
(両性愛者)



T = トランスジェンダー
(心の性と体の性が違う人)



LGBTの象徴は6色のレインボー



LGBT支援者をALLY(アライ)と呼ぶ

「健康マイレージ制度」や「ヘルスケアポイント」等の一人一人が積極的に健康づくりに取り組める施策が必要と考えるが、いかがか



公明党
鳥居康子 議員

高齢社会において、医療や介護を必要としない健康づくりを促進し、健康面で問題なく生活できる健康寿命と仕事や地域活動に従事できる活動寿命の延伸を図る取り組みとして、歩いた歩数や市が提供した運動プログラムへの参加等、健康づくりを行うことでポイントが付与され、取得したポイントに応じて商品などの報酬がもらえる健康マイレージ制度やヘルスケアポイント等、健康づくりの見える化を図り、一人一人が積極的に取り組める施策が必要であると考えているが、いかがか。

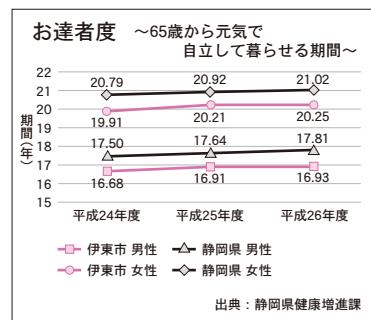
市長
三〇年度から本市独自の健康マイレージ事業を実施する方向で協議を進めている

健康寿命の延伸に向けて、健康づくりに取り組んでいただくきっかけとするため、来年度から本市独自の健康マイレージ事業を実施する方向で協議を進めている。

独自の取り組みとしては、各種検診の受診、健康教室や介護予防事業への参加等をポイント化し、取得したポイントに応じて商品などを贈呈することを考えている。対象者については、若年層から高齢者とし、各種検診により、自身の健康状態を確認していただくことで、健康づくりにつなげるとともに、介護予防事業を推進していくため、各種介護予防教室や健康体操クラブなどの参加者も対象に加え、楽しみながら介護予防に取り組んでいただけるような仕組みを構築していく。市民の皆様の健康づくりに対する支援をさらに充実

し、一人でも多くの方が積極的に健康マイレージ事業に挑戦していただくことで、健康寿命の延伸を図ってきたい。

『その他の質問』 二項目



本市のお達者度は、県内では下位の状況

中央区立宇佐美臨海テニ
ス場跡地の活用について伺
う

日本共産党
佐藤 龍彦 議員

中央区立宇佐美臨海テニ
ス場跡地は、地域住民の交
流の場として宇佐美まつり
の会場になり、また、コ
ミュニティセンターや学校
行事では臨時駐車場となる

など、多様な利活用がされ、地域の活性化に寄与し、ある意味で宇佐美区のシンボリックな場所となりつつある。しかし、手つかずのまま何も整備がされておらず、

イベントの際のフェンスの取り外し、電気の引き込み、草刈りなどの作業が大変だと聞く。また、出入り口部分は門柱があるため狭く、草地部分はでこぼこして利用しやすいとは言えない。

このような現状でも年間を通じて利用がされている当該跡地を、少しでも維持管理しやすく、市民、特に管理している宇佐美区にとつて、さらに利活用しやすい場所にしていく必要があると考えることから、二年前にも同様の質問をしたが、進展が見られないことや、小野市長になったことから、改めて、当該跡地を整地し、市民が利用しやすい場所を提供することで有効活用を図るべきであると考えているが、今後の方針を伺う。

市長

管理している宇佐美区や市民の皆様からもご意見を伺いつつ、今後の施設建設の時期も勘案の上、検討していく

当該跡地については、暫定的な措置として、主に宇佐美学園の各種行事や、宇佐美コミュニティセンターで開催される各種行事の際の臨時駐車場などとして活用しているが、土地の整地や外構の改修、また、他の活用方法については、管理している宇佐美区や市民の皆様からもご意見を伺いつつ、今後の施設建設の時期も勘案の上、検討していく。

『その他の質問』 六項目



中央区立宇佐美臨海テニス場跡地

八幡野地区において地域住
民の生活に影響を及ぼす、
さまざまな環境破壊問題に
ついて伺う

伊東新時代。
杉本 一彦 議員

八幡野地区では、産業廃棄物の不法投棄、伊豆高原メガソーラーパーク発電所（仮称）建設計画、山林の不法伐採等、住民の生活を脅かす環境破壊問題が次々と発生し、不安の声は本市全体だけでなく、全国にも広がっている。

いまだ問題解決に至っていないケースが多い実態を考慮すれば、関係機関と連携を図る中で一つ一つ謙虚に問題を整理、検証しながら、これまでにおける反省点や今後は何をすべきか、今市民に何を伝えるべきか、ということに重点を置き、市民に説明することが必要である。

同様に、私自身も議員として反省しなければならぬ立場であるが、近年、八幡野地区において地域住民の生活に影響を及ぼすさまざまな問題のうち、特に、伊豆高原メガソーラーパーク発電所（仮称）建設計画について、これまでの対処、現在の状況及び今後の見通しについて伺う。

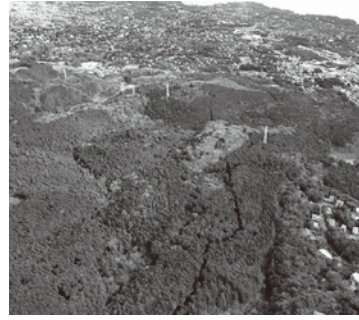
市長
十分精査する中で慎重に審
査を行っている

これまでの対処及び現在の状況については、開発に関連した法令の手続きにおいて、市に対して、平成二九年四月に宅地造成等規制法に基づく申請書が提出されている。現在、法に基づく技術基準の適合について、丁寧に確認しているが、主な項目としては、調整池を含む雨水排水計画と、切土、盛土に関する造成計画が、開発区域の状況を的確に把握し反映されているかなど、十分精査する中で慎重に審査を行っている。

3 月定例会の予定

2 月20日(火) 開会

※日程等は、2月中旬の議会運営委員会において正式に決定します。



メガソーラー建設予定地

今後の見通しについては、引き続き、法に基づく適切な計画となるよう設計協議を的確に実施する中で、慎重な審査を行っていく。
『その他の質問』 七項目

市議会内の会派構成

記載順は会派代表者を先頭。
以下、議席順。

H30.1.5現在

正風改革クラブ



佐山 正(代表)



山口嘉昭



井戸清司



土屋 進

自民・絆



中島弘道(代表)



大川勝弘



青木敬博



稲葉富士憲

民進クラブ



四宮和彦(代表)



鈴木克政



浅田良弘

公明党



鳥居康子(代表)



長沢 正

日本共産党



重岡秀子(代表)



佐藤龍彦

伊東新時代。



杉本一彦(代表)



犬飼このり

会派に所属していない議員



横沢 勇



稲葉正仁

なお、平成二九年一二月定例会から音響映像機器を更新し、映像が改善されました。これに伴い、視聴できるまで期間を、当面の間、おおむね「三開庁日後」から「一週間後」に変更いたしますので、ご了承ください。

※録画映像は公式記録ではありません。後日調製される会議録が公式記録です。

■アクセスは、
伊東市ホームページ↓
市議会↓市議会インター
ネット中継放送

伊東市議会では、開かれた議会を目指し、本会議の録画映像をインターネットでごらんいただける取り組みをしております。
会議の翌日から起算して、おおむね一週間後から視聴できます。

本会議録画映像を
インターネットで
視聴できます！

常任委員会 行政視察概要

常任委員会では先進事例などの調査・研修のため、2泊3日の行政視察を実施しました。

詳細はホームページをごらんください。

なお、福祉文教委員会の行政視察は1月10日～12日に実施しました。（概要は次号に掲載予定）

総務委員会

11月7日～9日

11月7日

岡山県倉敷市

【くらしき流ファシリティマネジメント】

維持・活用等に多額の財政負担を要する公有財産の管理に関し、全国に先駆け、総合的かつ独自に管理している取り組みについて視察しました。

11月8日

山口県岩国市

【岩国市協働のまちづくり促進計画】

社会環境の変化により多様化・高度化した市民要請に対し、市民・企業・行政の長所を生かすことで適切かつ柔軟に対応するための計画について視察しました。

11月9日

広島県広島市

【復興まちづくりビジョン】

行政と市民・企業等の認識共有や早期復興の推進、中長期的な防災・減災のための施設整備により、災害に強いまちとして復興することを目的とした計画について視察しました。



岩国市（総務委員会）



広島市（総務委員会）



九州狩猟肉加工センター（観光建設委員会）

観光建設委員会

11月13日～15日

11月13日

別府市観光協会（大分県別府市）

【別府八湯温泉道について】

別府市内の温泉をめぐるスタンプラリーで、観光客に遊び感覚で温泉めぐりを楽しんでもらい、別府温泉を深く理解してもらう事業を、地域の活性化につながる取り組みとして視察しました。

11月14日

大分県別府市【遊べる温泉都市構想、別府ONSENアカデミア、湯～園地計画について】

PR動画100万回再生で「湯～園地計画」実現とした公約や実現資金に税金を使用せず、クラウドファンディングを利用したこと等の行政の新しい取り組みを視察しました。

11月15日

九州狩猟肉加工センター

（株）椿説屋（大分県由布市）

【ジビエの生産・加工・流通について】

施設間の連携を図り、捕獲・解体・流通の各段階における課題解決に取り組み、大手食品会社等との取引を実現した事例を視察しました。

閉会中の議会活動



※平成29年9月定例会閉会後から
平成29年12月定例会開会まで

平成29年

10月23日 議会報編集委員会

11月 6日 議会活動活性化協議会

11月16日 議会活動活性化協議会

11月27日 議会運営委員会

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、2月上旬発行予定の12月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

総務委員会

問 市制施行70周年記念PR事業の内容を伺う。

答 これまでも、伊東高校城ヶ崎分校や伊東商業高校の生徒に、ロゴマーク及び今昔モザイクアートの制作に取り組んでもらったことから、高校生がつなぐ市制施行70周年記念事業のフィナーレとして、伊東高校の総合探究部の生徒に、本市出身者とのインタビューを通して、伊東の過去や未来をこれからの世代に伝えるための新聞の発行に取り組んでもらうことを企画しており、広報いとう4月号に折り込んで全戸配布する予定である。



ロゴマークと今昔モザイクアート

観光建設委員会

問 一般会計補正予算において、増額計上された宣伝費のうち、伊東エリアブランディング事業について、具体的な事業内容を伺う。

答 平成29年度当初予算において、ドローンで空撮した映像を映像素材として収集し、それらをSNSで発信したり、テレビ番組に提供し、使用していただくなどの活用をしている。

今後についても、新たな地域やイベントを空撮し、映像素材をふやすことで、さらなる活用を図りたい。



ドローンで空撮した小室山と城ヶ崎海岸

福祉文教委員会

問 伊東市子育て支援医療費助成条例の一部改正により、助成対象者の拡充が図られることになるが、その範囲について伺う。

答 対象となる子供の定義を「18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者」とし、18歳以下全ての者が対象となる。対象者の中には、就労している者や婚姻している者も含まれることとなるが、16歳から18歳までの就労は、低所得である傾向があり、本改正は、保護者等の経済的負担の軽減を図ることを目的としているため、助成対象としている。



助成対象が18歳まで拡充される

本市議会では、議会活動に関するさまざまな課題に対し、非公式な会議ではあります。自由闊達な意見を述べ、解決方法を探る場として、各会派及び会派に所属していない議員で構成する「議会活動活性化協議会」を立ち上げました。

第一回協議会は一月六日、第二は一月一六日に開催し、本市にとって懸案事項となっているメガソーラーに関し、太陽光発電施設の立地については、法的な規制要件がないことから、市長と議長の連名により、国・県に提出する大規模な太陽光発電施設の法（条例等）整備に関する要望書について、その内容を協議いたしました。（この内容の詳細は次ページをごらんください。）

今後についても、会派代表者会議で提案された諸課題について、協議を継続して行う予定です。

議会活動
活性化協議会

大規模な太陽光発電施設の
法（条例等）整備に関する要望

メガソーラーに関し、六月定例会において本市議会としての意思を表明した決議に続き、議会としてできることとして、太陽光発電施設の立地については、現在、法的な規制要件がないことから、大規模な太陽光発電施設の法（条例等）整備に関する要望書を国及び県に持参し、要望すること及び要望書に盛り込む内容を、議会活動活性化協議会（前ページ参照）において協議いたしました。

この協議を踏まえ、市長と議長連名の要望書を作成し、一月二七日に、井戸清司議長及び長沢正副議長が小野達也市長とともに県庁を訪問し、直接、川勝平太知事に手渡しました。

また、一月には、関係省庁を訪問し、国に対しても要望書を提出する予定です。

※県に提出した要望書の全文は下記をごらんください。

大規模な太陽光発電施設の条例等整備に関する要望

当市では、山林等を切り開いた土地において、野立てによる太陽光発電施設が急速に増加しており、特に平成25年頃から開発面積が1,000㎡以上になる大規模な太陽光発電施設の建設が始まり、発電規模が0.3メガワットから2メガワットまでの施設が施工中も含めて9件あり、また、20メガワット以上の規模の施設も計画されております。

しかしながら、太陽光発電施設の立地に係る関係法令の多くは、急速に増加する太陽光発電施設に関する規制要件がなく、また、立地に当たっては自治体や地域住民の意見が反映されない状況となっております。

さらに、太陽光発電施設の建設に際しては大規模な森林伐採を伴うことが多く、このことで自然生態系の悪化や、土砂災害の防止、自然景観の維持といった森林の多面的機能も喪失することになり、また、事業終了後においては、太陽光発電施設が放置される心配もあり、元の豊かな自然環境に戻すことも難しくなるものと考えております。

このようなことから、全国市長会はこの6月に、太陽光発電施設など既存の法令の対象とならない土地利用について「防災・安全の確保、景観への配慮、周辺環境の保全、施設の適正な撤去・廃棄の観点から基準を策定して許可するなど法的規制を行うこと」とした特別提言を国に対して提出しております。

つきましては、地球温暖化対策の推進において、再生可能エネルギーの普及促進は重要なことと存じますが、これらのことに鑑み、下記の事項について御配慮を賜りますよう要望いたします。

記

1 静岡県環境影響評価条例について

大規模な太陽光発電施設について、規模要件の見直しなど、条例整備を充実すること。

2 静岡県森林と県民の共生に関する条例について

民有林区域において、特に公益性の高い森林を保全するための新たな制度の創設など、条例整備を充実すること。

3 静岡県土地利用事業の適正化に関する指導要綱について

大規模な太陽光発電施設について、指導要綱の事業対象とするなど、要綱整備を充実すること。

4 再生可能エネルギーに関するガイドライン等について

自然環境及び生活環境と共生した再生可能エネルギー施設の設置に係るガイドライン等を制定すること。



編集後記

二月は「如月」とも表記しますが、もとは、中国で二月を表す漢字をそのまま当てはめたそうです。

日本では諸説ある中、旧暦二月でもまだ寒さが残っていることから、衣（きぬ）を更に着る月で、「衣更着（きさらぎ）」とも言われています。

そんなまだまだ寒さの残るこの季節に、卒業前の追い込みや、新生活の準備に入っていることでしょうか。希望あふれる未来への門出の時です。大きく羽ばたいてください。（佐藤）

議会編集委員会

委員長	四宮和彦
副委員長	佐藤龍彦
委員	山口嘉昭
〃	大川勝弘
〃	鳥居康子
〃	犬飼このり

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ